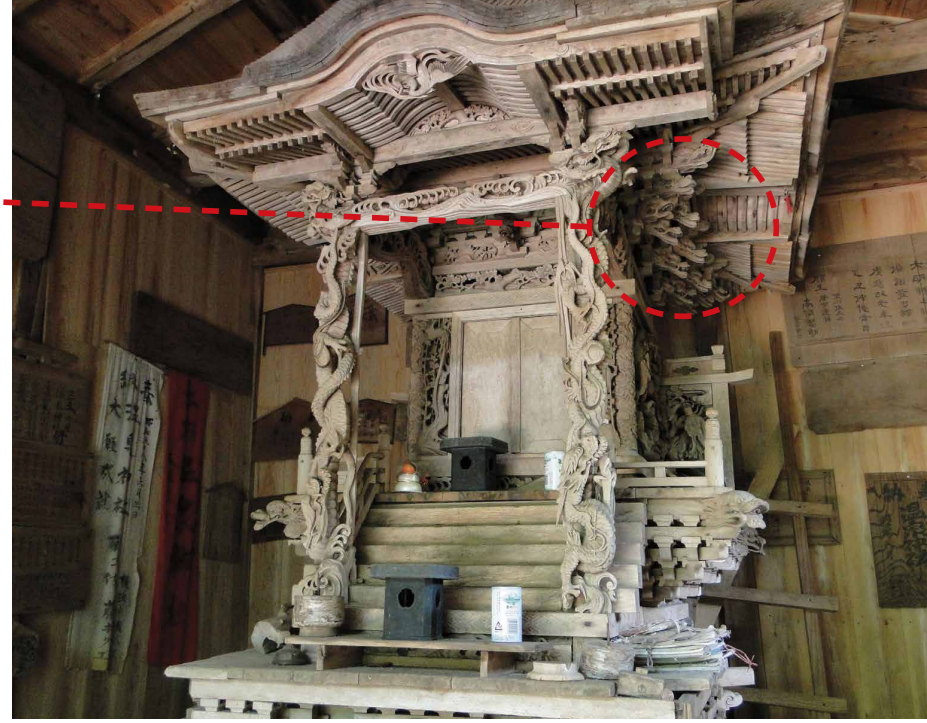
NASUSHIOBARA Newsletter
広報なすしおばら
平成29年12月5日号 No.311

貫の先端の竜頭


三斗小屋温泉神社本殿

板室温泉神社本殿

湯の湧く所に神社あり！とは言い切れないが…

温泉神社

私のまちの 近い 遺産

師走に入り、寒さが厳しくなってきました。
そんな寒さを吹き飛ばすために、温泉めぐり…
ではなく「温泉神社めぐり」はいかがでしょうか。
市内には多くの温泉神社があることを知っていますか？
今回は、市指定文化財に指定されている温泉神社を紹介します。

本市には指定文化財の神社が12社あり、そのうち、温泉神社の名が付くものは7社で、塩原に5社（新湯、畑下、塩の湯、茗荷、福渡）、黒磯に2社（三斗小屋、板室）あります。

温泉はさまざまな病に効く不思議な力があることから、人々は利用する一方で「湯の神」をまつった神社を建立するなど崇敬の対象としてきました。市内の温泉神社の創建は平安時代から江戸時代までと幅広く、どれも地域で大切にされ、今日まで守られてきたものです。

神社の社殿にはそれぞれ特徴があり、例えば黒磯地区の三斗小屋温泉神社の彫刻は、柱を飾る上り竜と下り竜、貫の先端の竜頭や欄間など、その精巧な彫刻は間近で見ると迫力満点です。言い伝えによると、日光東照宮の造営に関わった彫刻師が、保養に来た際に制作にあたったと言われています。

冬季は積雪のため、行くことができない神社もありますが、地元の温泉に入って疲れをとりながら、地域の歴史にも目を向けてみてはいかがでしょうか。

Topic

温泉と書いて何と読む？

県内の温泉神社はほとんどが那須地区に集中していますが、中には「温泉」と書いて「ゆぜん」と読む神社もあります。温泉神社の読み方や分布には諸説ありますが、那須与一が屋島で扇の的を射る際に「那須ゆぜん大明神」（※那須町の那須温泉神社）と祈願し、見事成功したことから広く知られ、その分布を広げたともいわれています。しかし、温泉神社全てが那須氏の関連とは一概には言い切れません。特に、塩原は那須氏の勢力下ではないことから、さまざまな病に効く温泉そのものを崇敬し、神社を建立したのではないでしょうか。

お知らせ

「平成30年（2018年）は明治150年！」

平成30年（2018年）は、明治元年（1868年）から起算して満150年に当たります。政府は、「明治150年」関連施策として、地方公共団体や民間も含めて、全国で取組みを推進しています。

明治150年 ポータルサイト 検索

発行・編集 那須塩原市企画部シティプロモーション課
〒325-8501 那須塩原市共墾社108-2
☎0287(62)7109 http://www.city.nasushiobara.lg.jp/